

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり3.53人と、前週と比べてやや減少しました。

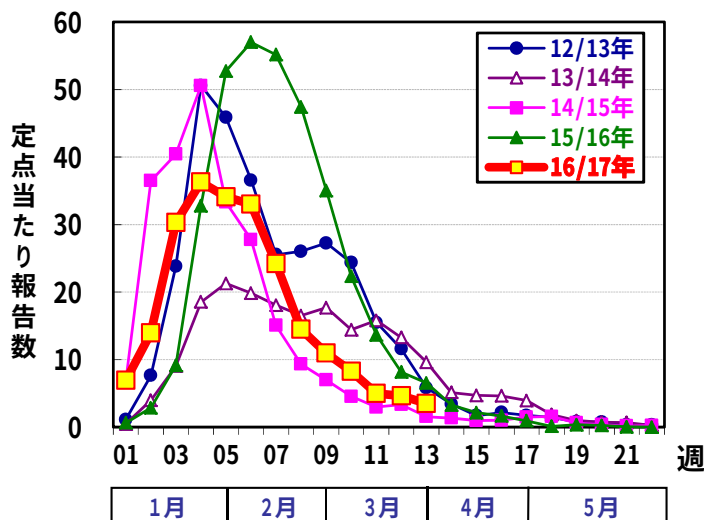
例年、春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月頃まで続く傾向がみられるため、引き続き、感染予防対策を心がけましょう。

市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が46人、B型陽性が9人報告されており、第11週(3月13日～3月19日)以降、B型が増加しています。また、広島市衛生研究所による遺伝子検査の結果では、今シーズンは、A(H1N1)2009型が1件、A(H3)型が27件、B型(ビクトリア系統)が2件、B型(山形系統)が1件検出されています(4月2日現在速報値)。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり4.39人の報告がありました。例年同時期と比べて少ない状況が続いていますが、感染性胃腸炎の集団発生が第13週に1件報告されています。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	127	3.53	5.26	◇	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.09	0.73	◇
小児科	咽頭結膜熱	7	0.30	0.30	▽	眼科	RSウイルス感染症	6	0.26	0.12	◇
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.22	1.69	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	◇
	感染性胃腸炎	101	4.39	8.70	◇	眼科	流行性角結膜炎	4	0.50	0.48	◇
	水痘	8	0.35	0.71	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	◇
	手足口病	13	0.57	0.13	◇	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	◇
	伝染性紅斑	1	0.04	0.16	◇	基幹	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.11	◇
	突発性発しん	4	0.17	0.30	◇	基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◇
	百日咳	-	-	0.02	◇	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	◇
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	◇						

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	2	7	女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
5	梅毒	1	11	女性(20歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第9週 第10週 第11週 第12週 第13週	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタウ イルス)	感染性 胃腸炎
報告数	広島市	第9週	407	6	52	103	13	8	3	9	-	1	3	5	-	3	-	-	1	-	-	-
		第10週	306	18	83	93	9	9	7	10	-	-	5	8	-	1	-	-	2	-	-	-
		第11週	184	14	57	101	8	7	3	8	1	1	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
		第12週	172	19	62	98	11	13	-	6	-	3	4	1	-	5	-	-	-	-	-	3
		第13週	127	7	51	101	8	13	1	4	-	-	2	6	-	4	-	-	1	-	-	-
定点当 たり	広島市	第9週	11.00	0.25	2.17	4.29	0.54	0.33	0.13	0.38	-	0.04	0.13	0.21	-	0.38	-	-	0.14	-	-	-
		第10週	8.27	0.75	3.46	3.88	0.38	0.38	0.29	0.42	-	-	0.21	0.33	-	0.13	-	-	0.29	-	-	-
		第11週	4.97	0.58	2.38	4.21	0.33	0.29	0.13	0.33	0.04	0.04	0.04	0.04	-	0.25	-	-	-	-	-	-
		第12週	4.65	0.79	2.58	4.08	0.46	0.54	-	0.25	-	0.13	0.17	0.04	-	0.63	-	-	-	-	-	0.43
		第13週	3.53	0.30	2.22	4.39	0.35	0.57	0.04	0.17	-	-	0.09	0.26	-	0.50	-	-	0.14	-	-	-
全国	全国	第11週	10.33	0.39	2.60	5.80	0.37	0.11	0.07	0.43	0.01	0.02	0.62	0.22	0.01	0.46	0.02	0.04	0.28	0.01	0.59	-
		第12週	7.71	0.33	2.08	5.01	0.36	0.11	0.06	0.37	-	0.02	0.57	0.18	0.01	0.45	0.03	0.03	0.24	-	0.59	-

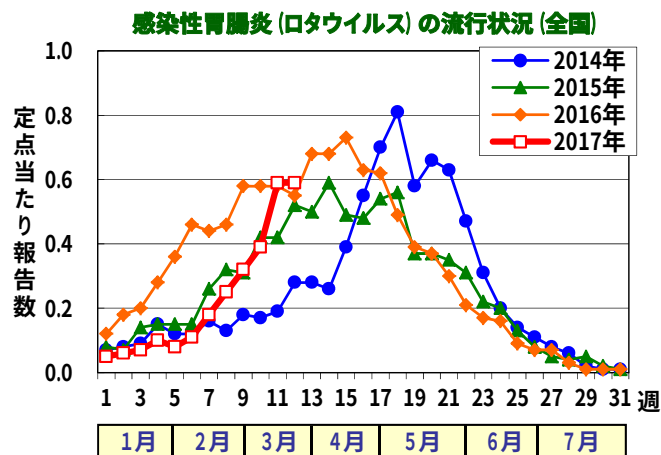
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.5) 頭痛 鼻炎 関節痛	7	女	2017/02/21	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎 鼻炎	8	女	2017/02/21	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型

*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

[参考] 全国における感染性胃腸炎(ロタウイルス)の流行状況



ロタウイルスは乳幼児におけるウイルス性胃腸炎の主要な原因で、感染すると2～4日の潜伏期間の後、下痢・嘔吐・発熱などの症状を引き起こします。例年3月から5月にかけて、乳幼児を中心にロタウイルスによる感染性胃腸炎の流行が起こります。

第5週(1月30日～2月5日)以降、全国的に報告数が増加しています。ロタウイルスは、ノロウイルスに比べると症状が少し重い傾向にあるといわれており、注意が必要です。特に、保育園などの集団生活の場では感染予防対策を徹底しましょう。

[参考]

- ・ロタウイルスに関するQ&A(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/index.html>
- ・ロタウイルス感染性胃腸炎とは(国立感染症研究所)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/3377-rotavirus-intro.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

[問い合わせ先]

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第13週(3月27日～4月2日)